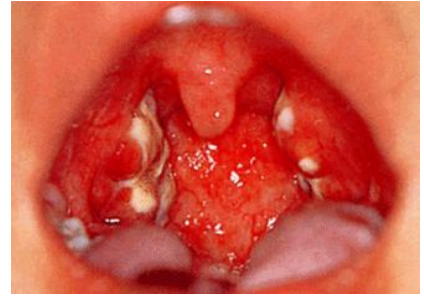


急性扁桃炎



原因と症状

・子どもから大人まで見られる病気です。細菌やウイルスによって生じる扁桃(主として口蓋扁桃という)の炎症です。かぜや疲労などで体が弱った時に、細菌やウイルスが口蓋扁桃に侵入増殖し、そこで免疫細胞と病原体と闘って、口蓋扁桃が痛みを伴って赤く腫れるのが急性扁桃炎です。口蓋扁桃に近い首などのリンパ節も腫れることがあります。

・主な症状はのどの痛みと発熱です。痛みは強い場合には食事ができないこともあります。発熱は微熱のこともありますが40度前後と高熱となることも珍しくありません。それに加えて、全身のだるさや関節痛を伴うこともあります。

診断と治療

のどの痛みと高熱、口蓋扁桃の発赤と腫れ、白い膿の付着があればまず急性扁桃炎を疑います。治療は抗菌薬や消炎鎮痛薬を内服します。痛みが強く、食事がとれない場合は点滴をすることもあります。

家庭でできること

手持ちの痛み止めがあれば内服し、水分を十分に取り、翌日に耳鼻咽喉科を受診しましょう。

急患診療センターを受診するめやす

痛み止めがなく食事がとれないなど症状が強い場合などに受診してください。耳鼻科外来は日曜、祝日、GW、年末年始の昼間(9:00~18:00)です。その他の日の夜間は内科や小児科での診察となりますので、翌日必ず耳鼻咽喉科を受診してください。